



【指導事例 1】

1 主 題 「先人の努力を受け継ぐ」〔伝統と文化の尊重〕

2 ねらい

伝統や文化を守るための先人の努力を知り、伝統や文化を大切にしようとする心情を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、アイヌ文化の継承や保存に大きく貢献した萱野茂の功績に触れることを通して、伝統や文化を大切にしようとする心情を育むことをねらいとしています。

前半では、北海道に和人が移り住むようになり、アイヌの人たちの暮らしや伝統、文化が次々と忘れ去られ、萱野茂自身もアイヌ文化に対して否定的な考えをもっていた頃の様子が示されています。

後半では、アイヌの人たちの伝統や文化そのものがなくなろうとしていることに対して、自分の力でアイヌ文化を守り抜こうと決意を新たにしている萱野茂の思いや行動について触れています。

指導に当たっては、自分の生まれ育った地域の郷土、伝統や文化を尊重し、郷土を愛した萱野茂の思いを理解し、自分との関わりの中で、子どもたちが自分たちの町や北海道の伝統や文化とどのように関わっていくかについて考えを深めていくことが重要です。

4 展開例—①「萱野茂の思いや願いについて話し合う活動を通して、受け継がれている伝統や文化の尊重について考える展開」

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の伝統的な文化や行事について話し合う。 ○ 地域に受け継がれている文化や行事には、どのようなものがありますか。また、文化や行事などに、自分はどう関わってきましたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の夏祭りには、毎年参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材「アイヌ文化を守り抜く」を読み、話し合う。 ○ 萱野茂が、「アイヌ文化が何だ。アイヌ語が何の役に立つものか。」と考えていた時、アイヌ文化やアイヌ語について、どのように思っていたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・もう時代が変わったんだ。 ・アイヌ語を覚えてどうなるのか。 ○ 萱野茂が、「これでいいのか。（中略）それなら、俺がそれを取り返してみせる。」と決意したのは、なぜでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・今までの家族の努力を無にしてしまう。 ・アイヌの人たちの存在が歴史から消えてしまう。 ◎ 萱野茂が「今、アイヌ文化をきちんと残さなければ将来消えてしまう。これはお金にかえられない、私たちの財産なんだ。」と考えていた時、アイヌ文化やアイヌ語に、どのような思いをもっていたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の生まれ育ったふるさとの文化や言葉を守りたい。 ・これまで、守り続けてきた人たちの想いを大切にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の立場から考えることで多面的に考えられるようにする。 ・登場人物が伝統や文化の大切さに気付いた時の気持ちを考えるよう促す。 ・登場人物が伝統や文化を守ろうと努力している時の気持ちを多面的・多角的に話し合い、価値理解・他者理解を深めることができるようにする。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の生き方について考える。 ○ 今、自分たちが住んでいる地域で、これからも大切にしていきたい伝統や文化はありませんか。 <ul style="list-style-type: none"> ・町の郷土料理を作れるようになりたい。 ・ずっと続いている祭りを盛り上げていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活や生き方を振り返り、自己理解を深めることができるようにする。 ■ 伝統や文化のよさや大切さについて、自分との関わりで考えている。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師の説話を聞く。 <p>※現在も、自分の住む町や北海道に思いを寄せ、郷土の伝統や文化を大切にしている人たちの取組などについて話す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住む地域の伝統や文化を大切にしていこうとする心情が育まれるようにする。

【指導事例 2】

1 主 題 「希望をもってくじけずに」〔努力と強い意志〕

2 ねらい

目標を立て、困難があってもくじけず努力して物事をやり抜こうとする心情を育てる。

3 展開例—②「萱野茂の生き方について話し合う活動を通して、信念を貫き、努力することについて考える展開」

4 主な学習活動

(1) 萱野茂が、「これでいいのか。(中略) それなら、俺がそれを取り返してみせる。」と決意したとき、どのようなことを考えていたのでしょうか。

- ・黙って見過ごしては、何も変わらない。
- ・父や祖母の思いを受け継ぐのは、自分しかいない。
- ・どんなことがあっても、この町にアイヌ文化を取り戻してみせる。

(2) 萱野茂が、貧しくても、苦労して得たお金を使い、伝統的な民具などを集め、アイヌの人たちの伝統や文化を守ろうとしたのは、どのような思いがあったからでしょうか。

- ・自分がかんばらなければ、アイヌ文化は将来消えてしまうかもしれない。
- ・途中であきらめたら、今までの努力が全て無駄になってしまう。
- ・いつか自分の考えに賛成してくれる仲間が現れるはずだ。

(3) 多くの人々の寄付金によって、二風谷アイヌ文化資料館を建てることができたとき、萱野茂はどのようなことを思ったのでしょうか。

- ・民具を集め出した頃は、資料館を建てることができるとは、想像できなかった。
- ・希望をもって、努力を続けてきて本当によかった。
- ・あきらめないで、続けてきたことが、ついに実った。

□ 活用場面例（道徳科以外での活用事例）

■ 国語科

読むことの学習において、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする単元の導入場面で本教材を活用することを通して、児童が興味のある歴史上の人物を探す手掛かりにすることができるようにする。

■ 社会科

我が国の歴史上の主な事象について取り扱う学習において、本教材を活用し、アイヌ文化の継承や保存について触れることを通して、アイヌの人たちには独自の伝統や文化があることを理解したり、伝統や文化は長い歴史の中で育まれてきたことに気付いたりすることができるようにする。

■ 特別活動（学校行事）

学校行事の勤労生産・奉仕的行事におけるボランティア活動などの社会奉仕の指導において、学習活動への動機付けを図るため、萱野茂がアイヌ文化を守るために尽力しているときや二風谷アイヌ文化資料館が開設されたときの思いや願いについて考える活動を通して、社会に奉仕する喜びや充実感に気付かせるとともに、公共のために役立とうとする意欲を養うことができるようにする。

■ 家庭や地域との連携

学級通信等で、本教材を活用した学習の様子を家庭に伝えるとともに、自分たちが住んでいる地域で今後も大切にしたい身近な伝統や文化について家庭や地域で話し合ってもらおうよう依頼し、児童の伝統や文化を大切にしようとする実践意欲を高めることができるようにする。